

施策評価シート（令和4年度 実績）

基本目標	新しい人の流れを生む魅力あるまちをつくる
------	----------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	特色ある教育活動の推進	評価者	教育部長			
施策内容	二宮町で進めている小中一貫教育等の特色ある教育活動は、子育て世代の転入も見据えた大きな魅力であるため、さらなる教育内容の充実を図ります。また、教育の質の向上のため、教職員の働き方改革も併せて推進していきます。					
主な事業	予算等事業名	行政評価結果	KPI達成への有効性	説明		
	1	小中一貫教育研究事業（教育研究所経費）	良好	有効だった	次年度からスタートする「にのみや学園」の運営内容の具体化を図り、決定した	
	2	英語教育推進事業	適当	有効とは言えない	コロナ感染の影響で英検3級の取得率が計画値に達しなかった	
	3	ICT教育推進事業	適当	有効だった	小中学校において、ICTを活用した授業を週の半数以上実施できた	
	4	コミュニティ・スクール運営促進事業	適当	有効だった	学校運営について、地域連携による活性化を図ることができた	
	5	地域学校協働活動推進事業	適当	有効だった	放課後子ども教室の実施回数の増に伴い、参加者もさらに増大した	
重要業績評価指標（KPI）①	指標名	中学3年生の英検3級取得率（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	45.8	50.0	50.0	50.0	D
	実績		35.2	42.6	18.1	
	分析	コロナ感染症の影響で試験の実施回数自体が減ったことにより、受験者数が減少した。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-	
重要業績評価指標（KPI）②	指標名	将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	75.6	76.1	76.6	77.0	B
	実績		コロナに伴い中止	72.2	73.3	
	分析	現在の指標では施策の進捗が測れないため、次期計画では指標を見直す。				
	方向性	指標の見直し	目標値（指標）の見直し案		教育施策の認知度	
重要業績評価指標（KPI）③	指標名	放課後子ども教室の参加率（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	15.5	16.0	16.5	17.0	A
	実績		19.5	26.9	36.4	
	分析	順調に実績を上げ、とても良好である。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案		-	

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	・二宮町小中一貫教育推進計画を策定し、令和5年度から施設分離型小中一貫教育を進めるため、具体的な方策を検討した。小中学校の交流会の増加、小学校間の同学年の交流会の新設、カリキュラム研究を進めるための支援体制を構築することとなった。			
	課題	①放課後子ども教室の参加率が年々上昇していることは、とても良いことであるが参加者数の増加に伴う対応・支援方法を工夫する必要がある。			
	改善点 (課題番号 に対応)	①次年度以降の開催に向けて、放課後子ども教室の運営方法を工夫したり、開催場所の変更などを検討していく。			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
		<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<p>・語学力やICT環境の整備など、現在の社会情勢に合った教育活動への取り組みは評価できるが、特色あるというよりは標準的な内容に感じた。魅力あるまちづくりのためには、町の特徴を活かした特色ある教育環境をつくる必要がある。</p> <p>・英語検定3級の取得も悪くないが、自動翻訳精度が格段にあがっているなか、良く目標に掲げられる「世界に通用する人材」となるには、例えば、中学生のころからプラトンや孔子などの古典に馴染んでおくなど、教養や道徳を学べるようにした方がよい。</p> <p>・KPI①「中学3年生の英検3級取得率」は、新型コロナウイルス感染症の影響で試験実施数が減ったのであれば、目標値を下げて評価しても良かったのではないかと。</p> <p>・英語教育推進の進捗をはかる指標として、外国人による講義や交流事業の実施数、学生参加者数なども考えられるのではないかと。</p> <p>・KPI②「将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合」は、目標値の設定が困難な数値であり削除とする意図も理解できるが、教育施策の認知度とするのは適切ではなく、児童生徒自身が評価する指標を検討するべきである。</p> <p>・教育施策の認知度をもって施策の進捗を測定するのは非常に曖昧で、指標を見直すのであれば、現在の教育への満足度のように分かりやすいKPIとする必要がある。</p>			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

	予算等事業名		行政評価の 方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
各事業の 今後の方向性	1	小中一貫教育研究事業 (教育研究所経費) (担当課：教育総務課)	拡大・拡充	継続推進	・小中一貫教育の目的等を広く周知するため、町広報紙をはじめとしたさまざまな媒体での情報発信に努める。 ・施設一体型小中一貫教育校の設置に向け、研究会による議論を進めていく。
	2	英語教育推進事業 (担当課：教育総務課)	現状維持	継続推進	・英語教育にあたっては、引き続き町の特徴的な教育として取り組みを進めるとともに、「英検3級取得率」だけでなく外国人による講義や交流授業など、特徴的な授業についてもアピールしていく。
	3	ICT教育推進事業 (担当課：教育総務課)	現状維持	継続推進	・引き続き、ICTを活用した授業実践を通じ、情報活用能力の育成に向けた系統的な指導を実施する。
	4	コミュニティ・スクール運営 促進事業 (担当課：教育総務課)	現状維持	継続推進	・引き続き各学校の運営協議会を中心に、子どもたちの文化力、芸術力、生活力、体力などを育む特色ある教育活動を実施する。
	5	地域学校協働活動推進 事業 (担当課：生涯学習課)	現状維持	継続推進	・放課後子ども教室の運営方法の見直しや、開催場所の変更等を検討し、より参加者が安心できる環境の整備を図る。